

平成23年度

景気動向調査

平成23年7月

留萌市
留萌商工会議所

平成23年度 景気動向調査

●調査目的

留萌地域においては商業・サービス業・建設業・水産加工業などあらゆる業種において業況が悪化し、地域経済に深刻な影響を及ぼし、更に東日本大震災の影響が見られ、この状況が長期化、深刻化することが懸念されており、留萌市からの委託を受けたこの「景気動向調査」を実施することにより、今後の地域経済活性化事業に関する検討資料とすることを目的とする。

●調査実施期間

平成23年6月16日～6月30日

●調査方法

設問は留萌市が作成し、留萌商工会議所が会員事業所718事業所へ調査票を郵送し、回答はFAXで返信していただくか、又は会議所へ届けていただいた。

配布枚数 718枚 回答数 174枚 回収率 24.2%

調査結果概要

会員事業所のご協力により予想回収率(20%程度)を上回ることが出来たことを先ずもって感謝したい。

調査結果としては、調査目的にある「商業・サービス業・建設業・水産加工業などあらゆる業種において業況が悪化し」との予測がアンケートを通して確認された、と言える結果であった。問2の道内全体の景況感については、悪いが59.8%、大変悪いが24.1%で合計83.9%となっている。変わらないが14.4%であったが前年も厳しい状況であったことを考えると、悪い状態が変わらないと言え、それも合わせると98%が悪いと言っていることになる。また、設問は道内と謳っているが回答した事業所が留萌市内の企業であることから留萌市内の景況感が悪いとも言える。その悪い要因としては「個人消費の減少」「先行き不透明感」「官公庁の発注減」が上位を占めている。景気の回復時期についても「不明」が89.0%とまだまだ回復の道筋が見えない状況だ。資金繰りについても「やや厳しい」と「厳しい」で52.9%を占め、売上げの減少が主な要因となっている。先行き(2~3ヶ月先)における懸念材料としては、景気対策の動向、個人消費の動向、公共投資の動向が上位に来ている。

以上のことから留萌市の経済にとっては、公共事業の発注を増加することにより建設業等が元気を取り戻し、小売業やサービス業等にお金が廻り、消費者の購買力が高まるような施策が必要と思われる。また、バイ留萌運動のようなお金が市内を循環する仕組みを考えて行かなければいけない。人口減少も大きな問題で6月末で2万5千人を割りこんでおり、若者が就職できる雇用機会の拡大も図らなければならない。さらに、商業者にとっては、今後ますます進行する高齢者社会に対応すべく、高齢者の需要を取り込んだきめ細かなサービスの提供が求められる時代に入ってきたと言える。

調査結果

問1 貴社の業種について

① 回答事業所の業種及び回答数

建設業	29枚
製造業	24枚
運輸業	9枚
卸・小売業	50枚
飲食・サービス業	49枚
その他	13枚
合計	174枚

② 貴社の従業員数を教えてください 業種ごとの合計数

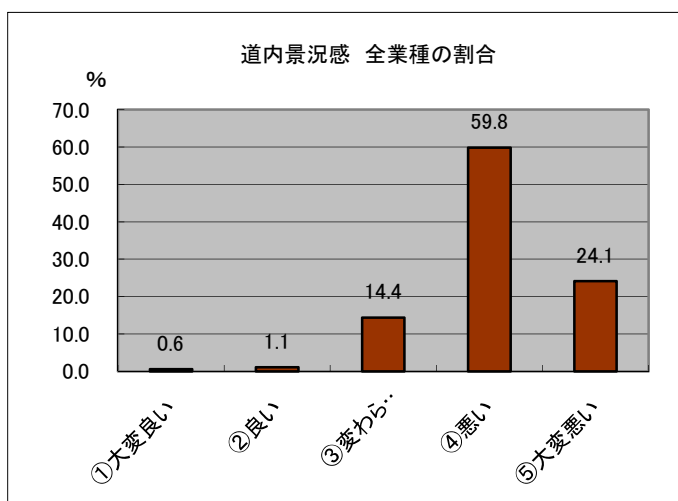
	従業員数	内正社員	正社員の割合
建設業	536	396	73.9 %
製造業	766	250	32.6 %
運輸業	322	205	63.7 %
卸・小売業	549	295	53.7 %
飲食・サービス業	1010	443	43.9 %
その他	301	269	89.4 %
合計	3484	1858	53.3 %

問2 道内全体の景況感について

1) 前年と比較した道内全体の景況感について伺います。

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①大変良い	0	1	0	0	0	0	1	0.6
②良い	0	0	0	1	1	0	2	1.1
③変わらない	4	6	2	5	5	3	25	14.4
④悪い	21	14	5	28	31	5	104	59.8
⑤大変悪い	4	3	2	16	12	5	42	24.1

174

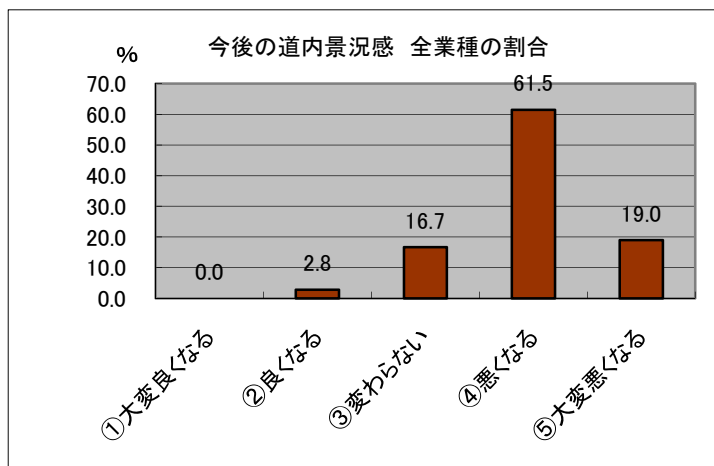


◎前年と比較した道内全体の景況感についての設問であるが回答のあった事業所が留萌市内であることから留萌市の景況感を表しているといえる。左のグラフの全業種で見ると④悪いが59.8%で一番多く、続いて⑤大変悪い24.1%、③変わらない14.4%となっている。①大変良いは0.6%、②良いは1.1%しかない。③の変わらないは前年も厳しい状態であったことを考えると悪い状態が変わらないと言え③変わらない④悪い⑤大変悪意を合わせると98.3%になり留萌市内の経済状況が大変厳しいことが分かる。

2) 今後の景況感について伺います。

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①大変良くなる	0	0	0	0	0	0	0	0.0
②良くなる	0	1	0	1	3	0	5	2.8
③変わらない	6	5	2	7	5	4	29	16.7
④悪くなる	16	15	6	32	31	7	107	61.5
⑤大変悪くなる	7	3	1	10	10	2	33	19.0

174



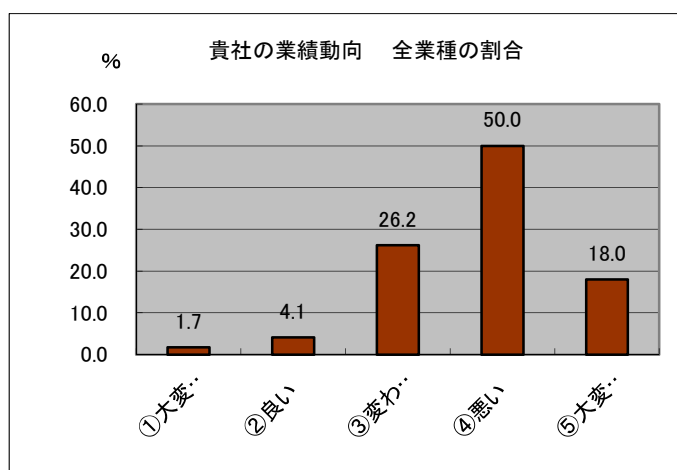
◎左のグラフは今後の道内景況感について尋ねたものだが上記(1)の傾向と同じく③変わらない④悪くなる⑤大変悪くなる合計で97.2%となっているところから、まだまだ底が見えない厳しい状況が続くとの見方が多い。

問3 貴社の業績動向について

1) 前年と比較した売上げ高(又は販売数量)について伺います。

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①大変良い	1	1	0	0	1	0	3	1.7
②良い	1	1	1	3	1	0	7	4.1
③変わらない	7	9	1	10	11	7	45	26.2
④悪い	16	13	6	25	23	3	86	50.0
⑤大変悪い	3	0	1	11	13	3	31	18.0

172

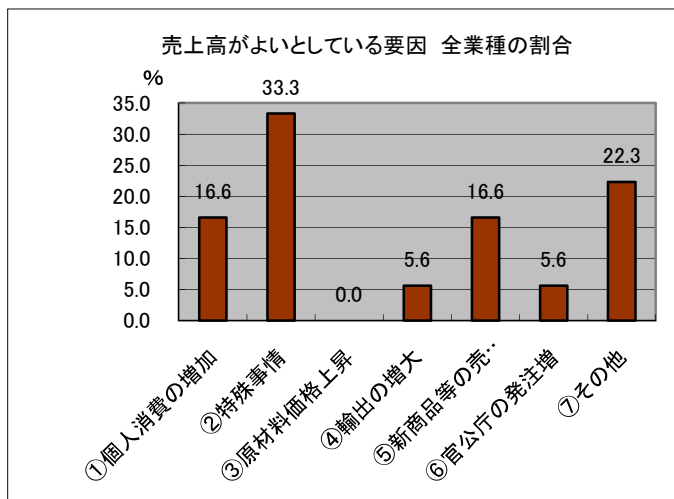


◎前年と比較した売上げ高について尋ねたものだが④悪い50.0%と⑤大変悪い18.0%を合わせると68.0%である。①大変良い1.7%と②良い4.1%で5.8%でしかないことを見ても大変厳しい状況であることがわかる。

2) 1)で①か②を選択した方に伺います。売上げ高(又は販売数量)が良いとしている要因はどのようなことですか。(複数回答可)

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①個人消費の増加	0	0	0	3	0	0	3	16.6
②特殊事情	1	1	0	3	1	0	6	33.3
③原材料価格上昇	0	0	0	0	0	0	0	0.0
④輸出の増大	0	0	0	1	0	0	1	5.6
⑤新商品等の売上増	0	1	0	1	1	0	3	16.6
⑥官公庁の発注増	0	0	0	1	0	0	1	5.6
⑦その他	1	0	1	0	2	0	4	22.3

18

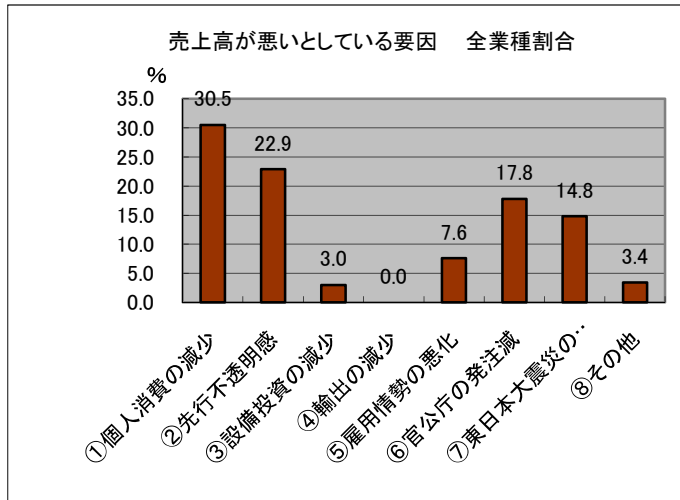


◎上記1の設問で①大変良い、②良いと回答したのは9事業所で少ないが、その中で良いとしている要因は②特殊事情33.3%⑦その他22.3%①個人消費の増加⑤新商品等の売上増の順になっている。

3) 1)で④か⑤を選択した方に伺います。売上げ高(又は販売数量)が悪いとしている要因はどのようなことですか。(複数回答可)

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①個人消費の減少	5	10	2	29	22	4	72	30.5
②先行不透明感	10	6	4	15	15	4	54	22.9
③設備投資の減少	1	2	1	2	1	0	7	3.0
④輸出の減少	0	0	0	0	0	0	0	0.0
⑤雇用情勢の悪化	2	1	0	8	5	2	18	7.6
⑥官公庁の発注減	17	2	3	11	8	1	42	17.8
⑦東日本大震災の影響	3	3	2	14	12	1	35	14.8
⑧その他	0	0	0	3	3	2	8	3.4

236

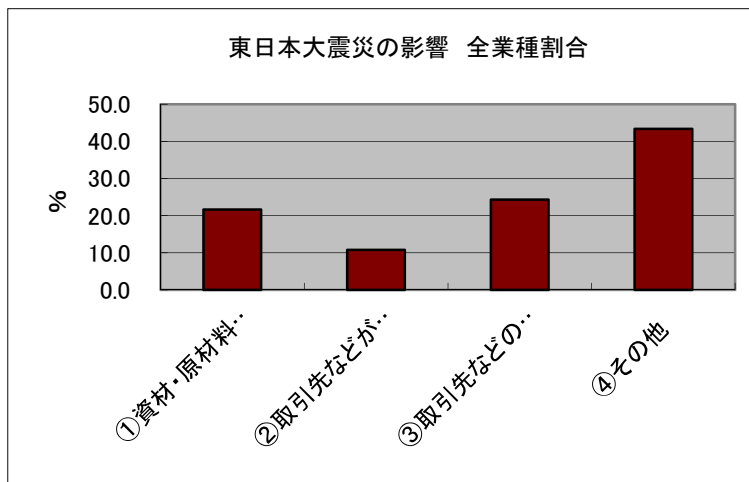


◎1)で④悪い、⑤大変悪いと回答した事業所でその要因としては、全業種で見ると、①個人消費の減少30.5%②先行不透明感22.9%⑥官公庁の発注減17.8%の順になっている。建設業では⑥官公庁の発注減が最も多く、卸小売、飲食サービス業では①個人消費の減少が最も多くなっている。

4) 3)で⑦を選択した方に伺います。具体的にどのような影響がありましたか。該当するものに○をつけてください。

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①資材・原材料不足	2	2	0	2	2	0	8	21.6
②取引先などが被災	0	1	0	3	0	0	4	10.8
③取引先などの自粛	0	1	1	4	3	0	9	24.3
④その他	1	1	1	7	5	1	16	43.3

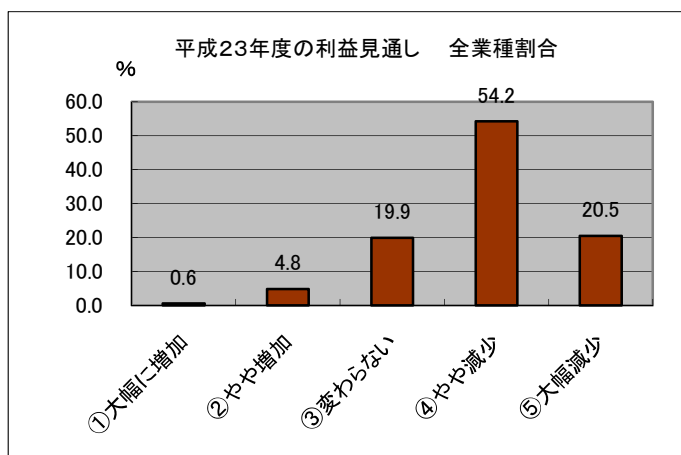
37



◎3)で⑦東日本大震災の影響と回答した事業所では④その他43.3%③取引先などの自粛24.3%①資材・原材料不足21.6%の順になっている。(その他の内容はP11を参照)

5)平成23年度の利益見通しについて伺います。

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①大幅に増加	0	0	0	0	1	0	1	0.6
②やや増加	0	3	0	1	3	1	8	4.8
③変わらない	5	7	2	8	5	6	33	19.9
④やや減少	18	13	6	25	25	3	90	54.2
⑤大幅減少	4	1	1	13	12	3	34	20.5

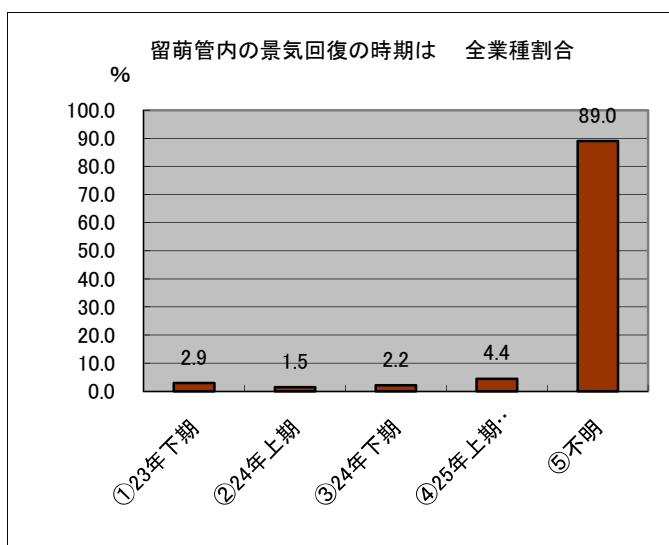


166

◎今年度の利益見通しについての設問だが①大幅に増加と②やや増加で5.4%。④やや減少と⑤大幅減少で74.7%となっており、今年も減収・減益になる事業所が多くなりそうだ。

6)5)で④か⑤を選択した方に伺います。留萌管内の景気回復の時期はいつ頃だとお考えですか。

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①23年下期	1	1	0	1	1	0	4	2.9
②24年上期	0	1	0	0	1	0	2	1.5
③24年下期	0	0	0	2	1	0	3	2.2
④25年上期以降	0	0	0	3	3	0	6	4.4
⑤不明	22	14	7	37	34	7	121	89.0



136

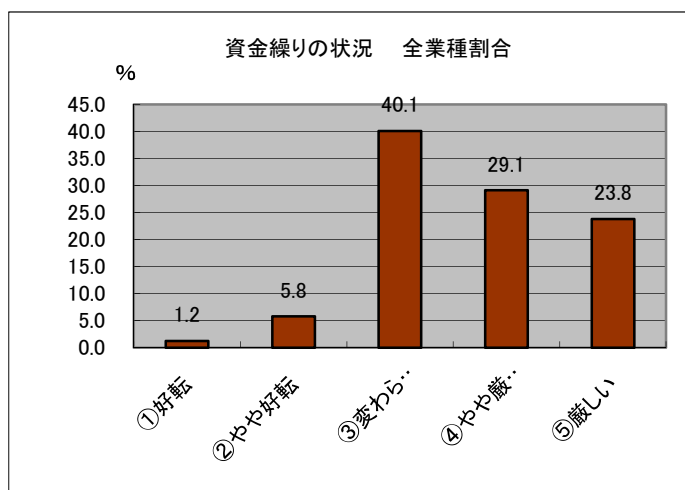
◎5)で、④やや減少⑤大幅減少を選択した方に聞いたもので、景気回復は何時になるか、との設問だが⑤不明が89.0%で、長引く不況がいつ回復するか全く見通せない状況といえる。

IV 貴社の経営実態について

1) 前年と比較した資金繰りの状況について伺います。

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①好転	0	1	0	0	1	0	2	1.2
②やや好転	1	1	1	5	2	0	10	5.8
③変わらない	14	10	4	18	13	10	69	40.1
④やや厳しい	9	7	2	10	20	2	50	29.1
⑤厳しい	4	5	2	16	13	1	41	23.8

172

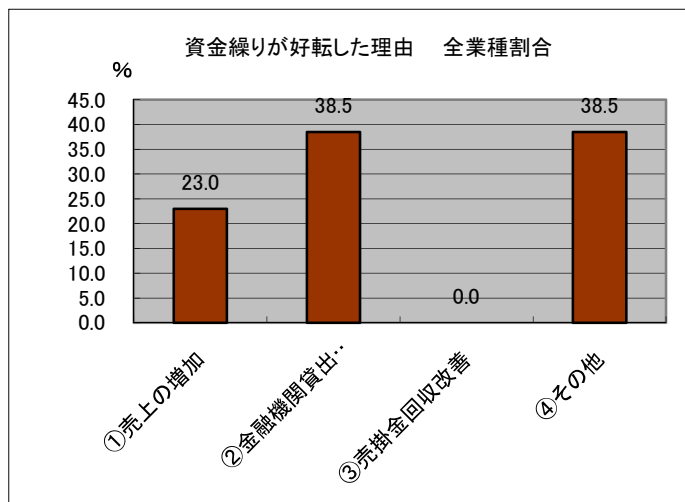


◎前年と比較した資金繰りの状況だが④やや厳しいと⑤厳しいで52.9%を占め、資金繰りが厳しくなっている企業が半数を超えている。

2) 1)で①か②を選択した方に伺います。資金繰りが好転した理由はどのようなことですか。(複数回答可)

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①売上の増加	0	1	1	0	1	0	3	23.0
②金融機関貸出緩和	1	1	0	2	1	0	5	38.5
③売掛金回収改善	0	0	0	0	0	0	0	0.0
④その他	0	1	0	3	1	0	5	38.5

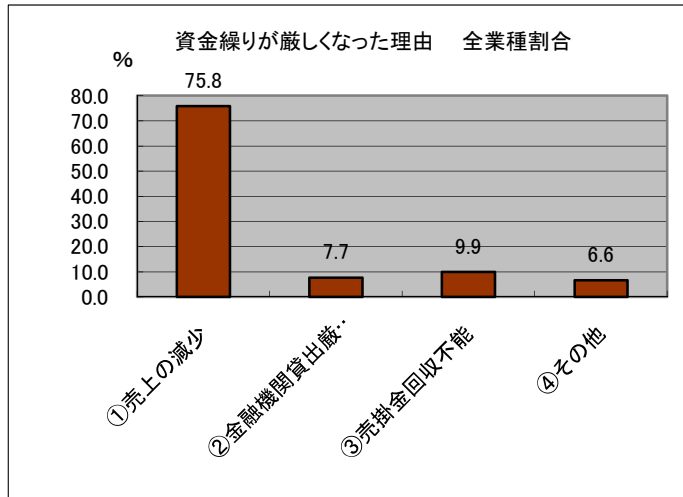
13



◎(1)で①好転②やや好転を選んだ5事業所が資金繰りが好転した理由を回答したものだが④その他38.5%②金融機関貸出緩和38.5%①売上の増加23.0%となっている。(その他の内容はP11を参照)

3) 1)で④か⑤を選択した方に伺います。資金繰りが厳しくなった理由はどのようなことですか。(複数回答可)

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①売上の減少	11	10	2	21	24	1	69	75.8
②金融機関貸出厳格化	1	4	0	2	0	0	7	7.7
③売掛金回収不能	1	1	0	6	1	0	9	9.9
④その他	1	0	0	1	3	1	6	6.6

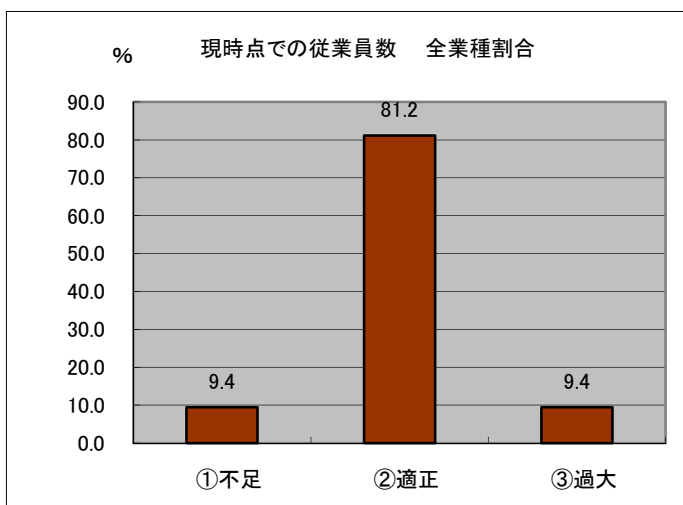


91

◎資金繰りが悪くなった理由だが①売上げの減少75.8%③売掛金回収不能9.9%②金融機関の貸出の厳格化7.7%の順になっている。(その他の内容はP11を参照)

4) 現時点での従業員数について伺います。

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①不足	2	1	1	3	7	1	15	9.4
②適正	23	19	5	37	33	12	129	81.2
③過大	4	1	3	4	3	0	15	9.4

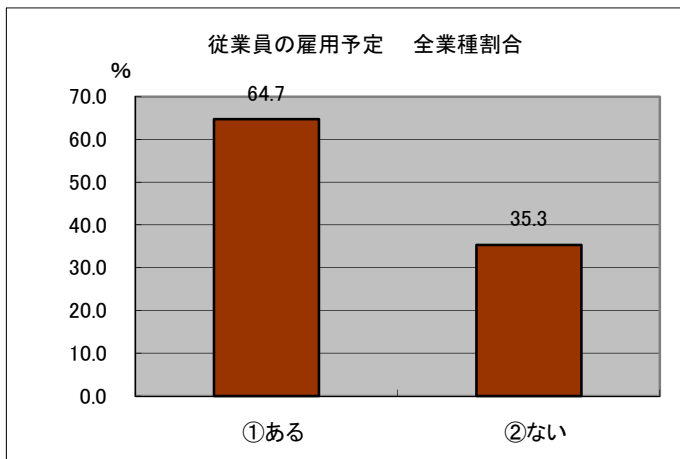


159

◎現時点での従業員数については②適正が81.2%①不足は9.4%③過大が9.4%の順になっている。

5) 4)で①を選択した方に伺います。今後、従業員を雇用する予定はありますか？

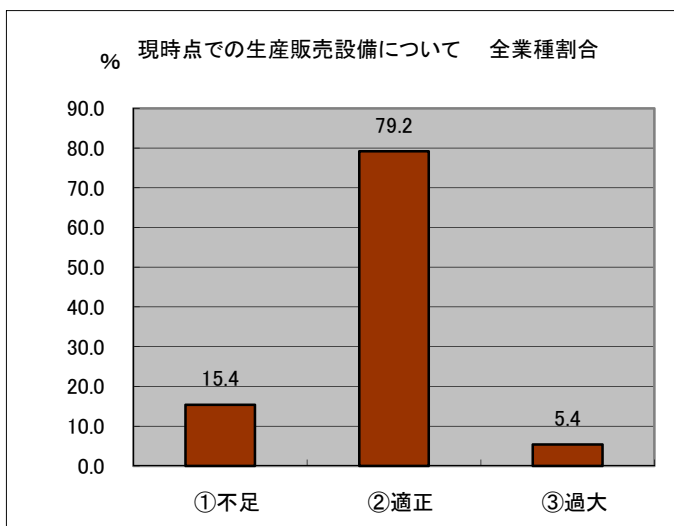
	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①ある	1	1	1	3	5	0	11	64.7
②ない	1	1	0	1	2	1	6	35.3



◎(4)で①不足と回答した17事業所のうち従業員を雇用する予定①あるが11事業所で64.7%、②ないが6事業所の35.3%であった。

6) 現時点での生産販売設備について伺います。

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①不足	2	4	1	3	12	1	23	15.4
②適正	24	15	6	34	28	11	118	79.2
③過大	2	1	1	3	1	0	8	5.4

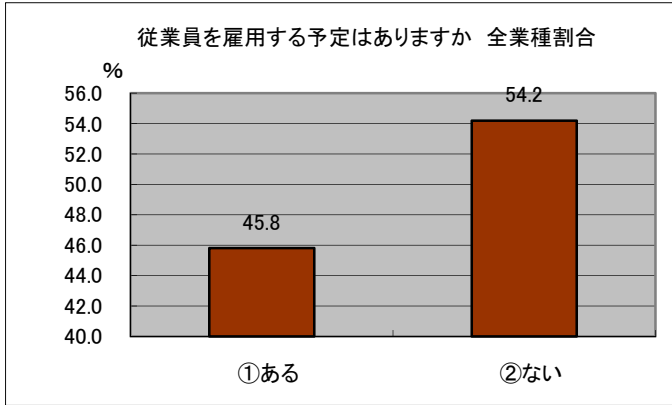


149
◎現時点での生産設備については②適正79.2%①不足15.4%③過大5.4%の順になっている。

7)6)で①を選択した方に伺います。今後、設備投資を行う予定はありますか？

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①ある	2	2	0	0	6	1	11	45.8
②ない	0	2	1	4	6	0	13	54.2

24

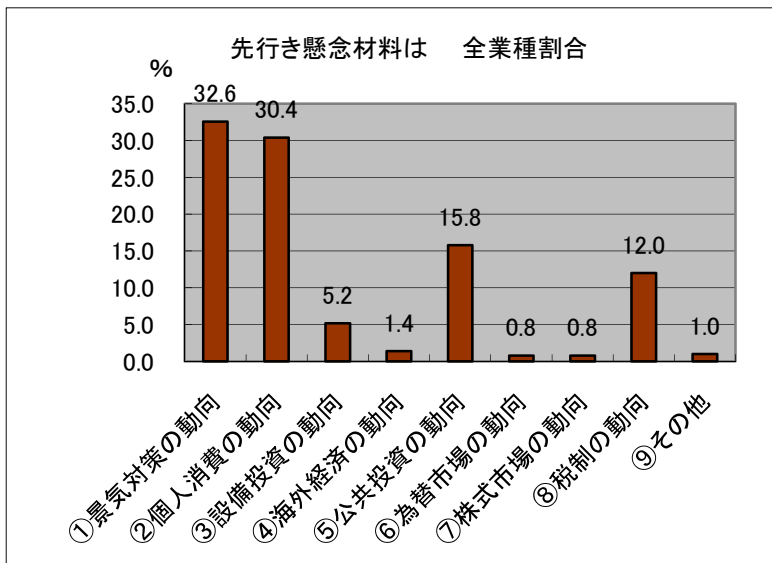


◎(6)で①不足と回答した24事業所のうち今後設備投資を行う予定①あるが11事業所で45.8%、②ないが13事業所の54.2%であった。

8)先行き(2~3ヶ月先)における懸念材料はどんなことですか。(複数回答可)

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①景気対策の動向	24	17	5	31	33	10	120	32.6
②個人消費の動向	9	16	4	43	31	9	112	30.4
③設備投資の動向	3	3	1	3	7	2	19	5.2
④海外経済の動向	0	3	0	1	0	1	5	1.4
⑤公共投資の動向	20	5	3	7	17	6	58	15.8
⑥為替市場の動向	0	0	0	1	1	1	3	0.8
⑦株式市場の動向	0	0	0	1	1	1	3	0.8
⑧税制の動向	5	7	2	14	12	4	44	12.0
⑨その他	0	1	0	2	1	0	4	1.0

368



◎先行き懸念材料についての設問だが①景気対策の動向32.6%②個人消費の動向30.4%⑤公共投資の動向15.8%⑧税制の動向12.0%の順になっている。長引く不況の中での消費税増税論議は売上減少に悩む中小企業にとっては大きな懸念材料と言える。

文章回答

Ⅲ-2 ⑧その他

営業活動

Ⅲ-3 ⑧その他

人口減少、高齢化

会社倒産による減少

政府の医療費削減

全体的に沈滞ムードでよい話がない

人口の減少 2件

天候

お客様の高齢化、年金暮らしの増加

Ⅲ-4 ④その他

各種イベントの中止

自衛隊員の派遣による減少

観光客の入りこみがない

公共事業費の削減

メーカーの生産おくれ

先行き不透明感

官公庁の発注減

工事現場が少なくなった

被災地への派遣

全員の自粛

発送不能、宣伝が打てない

観光客の激減

Ⅳ-2 ④その他

利益の向上・安定

返済が終了した

会社の合併

経費の見直し

Ⅳ-3 ④その他

地元業者の倒産

倒産・廃業による回収困難

経費の大幅な増加

不渡り手形を掴まされた

原油価格の上昇

Ⅳ-8 ⑨その他

原料事情の動向

増税による経済動向

東日本震災による商品の供給状況

人口の減少

Ⅳ－9 不況下における事業展開の取り組み

建設業

営業活動の強化

固定経費の削減

工事額の大小問わず民間工事の掘り起こし

技術力、意識の向上、及び経営効率化

忍耐

販売先の検討、販路拡大、少数精鋭主義で、経費削減

製造業

営業の強化

今後、好転しつつある

価格競争ではなく特異性のある新商品の開発

耐える

運輸業

設備投資は計画通りに遂行する予定であるが、経費は徹底的に圧縮を計る

卸小売業

経費の見直し削減に努める。仕事の効率を高める。仕入れの厳選。顧客の増加に努力。

訪問巡回を多くして消費者のニーズをつかむ

お客様に信頼される商売を優先課題と致します

取引メーカーの意見や戦略を取入れ協働することで積極的に事業展開に取り組んでいる

不況下だからこそできる改善策を進める

設備投資と人件費を抑える

最低でも現状維持ができるように努力する

人口減少と少子高齢化が進行する現状において殊更悲観的になりすぎないようにする

配達や旧品引取りなどのサービスを重点にしている

インターネットでの買物にも対応していく

飲食サービス業

せっかくある設備をフルに活用する

従来のお客様も新規のお客様もご満足いただける技術と対応

仕入、ランニングコストの削減、メニューの選択削減、イベントの立ち上げ、参加

サービス業としては不況下でも価格を落とさず価格以上のサービスを提供させていただく。

留萌市以外の取引先の獲得

営業エリアを旭川・札幌方面まで伸ばしている

キャッシュフローを上げること

地域に根付いたサービスの提供

その他

来院数を増やすためラボラトリーサイドから何かサービスする方法はないか模索中

職種団体の強化、関係団体との懇談会

V－1 ①市への要望

建設業

官民共に地元が発注。消費につながる施策の企画並びに実施

工事物件は地元業者へ発注を

借金返済も大事だが公共投資も必要です

被災した地域の水産加工などの企業を積極的に誘致できないか

従業員数の適正化、経営の効率化

住宅改修消費意欲の喚起のための市助成金制度の実施

公共事業も含め市内で調達する

冬季の雇用者の為、工事の発注をして欲しい

製造業

市役所の移転も含めて将来の街づくりの図面をしっかりと考えて欲しい

運輸業

国・道の出先機関の縮小、廃止等の歯止めをかけるよう今後もご尽力いただきたい

卸小売業

補助金の活用により平等な施策を実施して欲しい。

公共事業の落札者に対する、特に大手管外業者への地元産業からの購入要請(開発・振興局への働きかけ)をお願いしたい

雇用の場を増やすような対策

地元業者からの買入れを促進すべき

市議会議員の削減

留萌市の財政難は承知しているがあまりの閉塞感で未来に希望が見出せない。もう少し積極的に取り組んで欲しい

地域経済の動向に関心を持つこと

医療関係者の給与削減はやめるべき

100円商店街イベント等賑わい作りが必要

若い人の雇用対策、高校を卒業して戻れる街に

飲食サービス業

地元企業に仕事が廻る工夫や仕組みを企画する

人口減少・流出に歯止めをかけること

雇用の創出、企業誘致

人口が増える方向での施策をお願いしたい

ふるもに市役所を

市の取り組む問題の市民への情報拡大、市職員の適正な配置による無駄の解消

企業の誘致。輸出を増加させる。

地元企業をもっと大切にすべき。留萌の業者で出来ることは留萌の業者へ。

市役所の使用する消費物件に関しては地元業者へ

職員給与を全道平均まで戻す

若い人が留萌市に残る環境の整備

V-1 ②会議所への要望

建設業

各官庁への地元発注の要望。

孫正義の脱原発クリーンエネルギーの候補に手を上げてみてはどうか

色々な意味で魅力がある留萌市にしていきたい

官公庁と連携して人口が増えることを考えて欲しい

製造業

良い資金があればと思っている

企業が元気付く対策をお願いします

国・道の出先機関の縮小、廃止等の歯止めをかけるよう今後もご尽力いただきたい

留萌経済の中心としてさらに頑張ってもらいたい

卸小売業

巡回指導による問題点の確認と経営指導

公共事業の落札者に対する、特に大手管外業者への地元産業からの購入要請(開発・振興局への働きかけ)をお願いしたい

空店舗の活用と商店街の集中化

地元業者からの買入れを促進するよう市に要望を上げて欲しい

地域経済対策を練ること

リーダーシップをもっと発揮してもらいたい

官庁に対して地元購入を要望出来ないか。地元業者だけで入札が出来ないか。

会議所、商店街連合会、カード会がタッグを組んでダイナミックな商環境作りをはじめべき。

買物の過疎地にならないように何か対策を考えて欲しい

飲食サービス業

地元にある官公庁や大手企業への地元会社利用の要望実施

地域活性化と異業種交流

新人教育のためのレベルの高い接客マナーレッスン講座の開設

短期、小額融資の斡旋、貸出条件の緩和

企業の誘致

留萌全体の企業が元気になるような取り組みをしてほしい

若い人が留萌市に残る環境の整備